



令和 7 年 1 0 月
公益財団法人鹿児島県環境整備公社
(エコパークかごしま)

第17回エコパークかごしま安全監視委員会について

8月21日(木)に第17回「エコパークかごしま安全監視委員会」が開催されました。当公社から廃棄物の搬入状況や埋立状況、環境モニタリングの実施状況について報告した後、モニターや見学者デッキから覆蓋施設内の状況を確認してもらいました。



モニターにより、覆蓋施設内の状況を確認している様子

各委員からは、「生活環境保全上の支障を出さずに順調に運営されている。」「安全な管理がされているということを確認した。」「令和11年に埋立てが終了するか、埋立終了後の管理をどうするか、懸念している。県や公社で検討されたい。」などの意見がありました。総括して、委員長からは、「エコパークかごしまが安全に稼働していることを確認した。」との意見をいただきました。

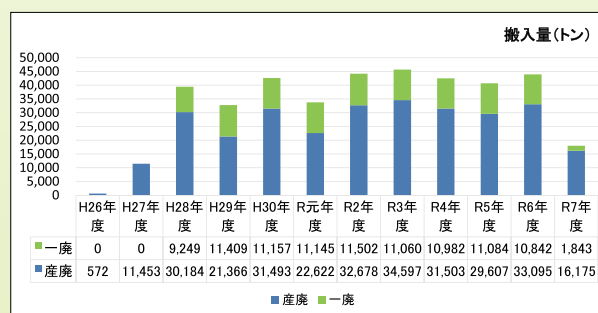
廃棄物の受入状況について

令和6年度の搬入量は、4万3,937トンで、5年連続で4万トンを超えました。

(令和7年8月末現在)

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	178,336	45.08
がれき類(廃石膏ボードを含む)	70,830	17.90
汚泥	40,425	10.22
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	34,940	8.83
ばいじん(一般廃棄物を含む)	36,606	9.25
木くず	17,324	4.38
廃プラスチック	8,657	2.19
13号廃棄物	4,994	1.26
鉱さい	1,781	0.45
動植物性残さ	873	0.22
金属くず	357	0.09
紙くず	307	0.08
繊維くず	190	0.06
合計	395,619	100.00

※小数点以下四捨五入のため合計と一致しません。



平成27年1月の開業から今年8月末までに約39万6千トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻(一般廃棄物を含む)、がれき類(廃石膏ボードを含む)、汚泥となっており、この3種類で全体の約4分の3を占めています。

教えて！エコパーク先生！



みなさんこんにちは！
 前回は、建設現場などから出てくる混合廃棄物を種類や性状ごとに分ける選別について勉強しましたね。

選別はリサイクルを進める上で重要な処理だったよね！



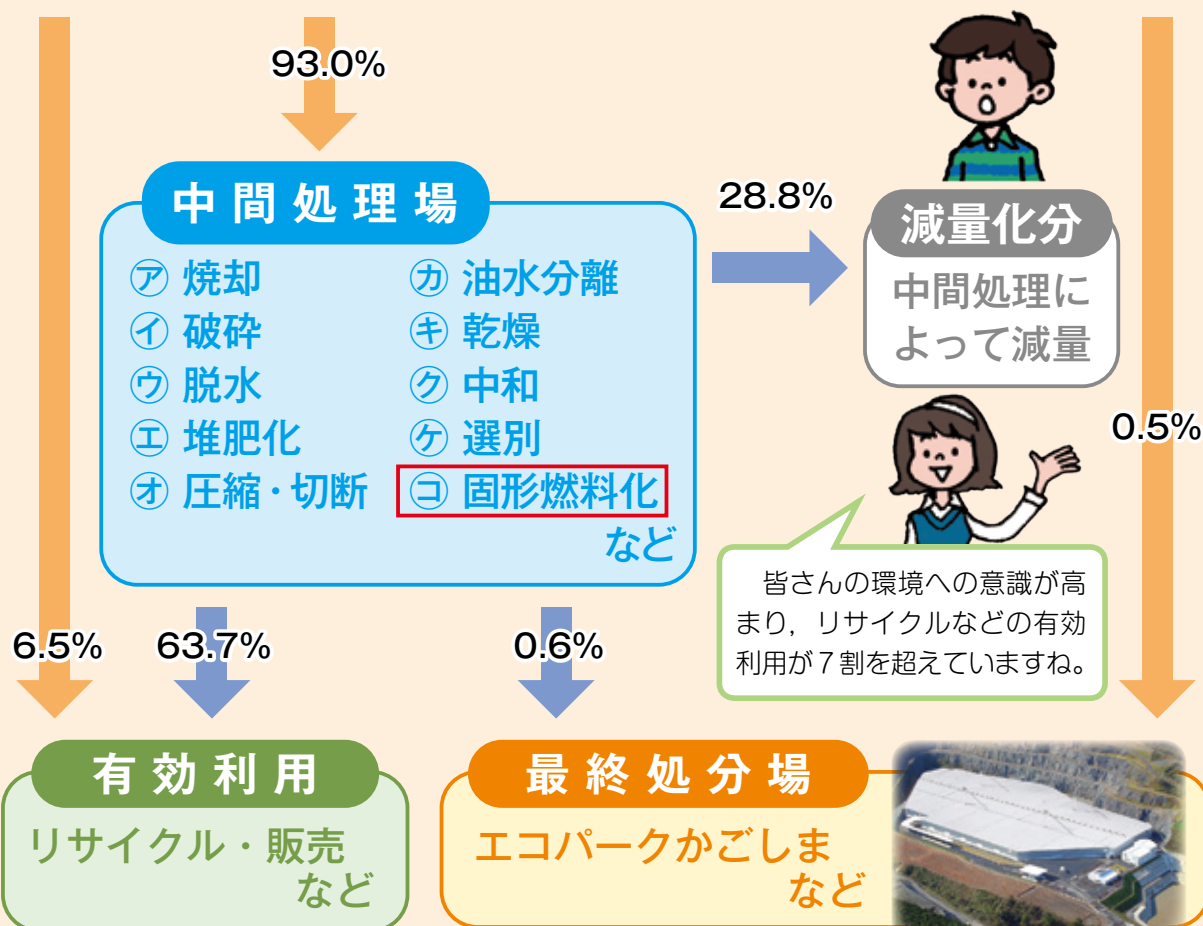
今回はどんなことについて教えてもらえるのかな。



今回は、下の図の中間処理場の中から㊸固形燃料化について勉強していきましょう。

産業廃棄物の流れ

県内の産業廃棄物





紙くずや廃プラスチック類などを破碎・成形し、重油や石炭の代替燃料をつくることを固形燃料化と呼んでいます。

紙くずや廃プラスチック類などでできた固形燃料ってどういう見た目のかな。

それでは実際の固形燃料について一緒に見ていきましょう。



【㊦ 固形燃料化】

紙くずや廃プラスチック類などが、破碎・成形などの処理工程を経て、固形燃料（RPF）と呼ばれる製品に変わります。固形燃料は重油や石炭の代替燃料として、製紙工場やセメント工場等で有効利用されています。

廃棄物



紙くず



木くず



固形燃料化施設



破碎工程

成型しやすくするために破碎を行います。



成型工程

熱を加え、圧縮・押し出しにより成型を行います。

有効利用



固形燃料



固形燃料（拡大）



廃棄物からつくられる固形燃料は、製紙工場やセメント工場などで重油や石炭の代わりに使用しているんだね。

これまで、㊶焼却から㊦固形燃料化までさまざまな産業廃棄物の処理について学びましたね。

リサイクルが可能な廃棄物は有効に活用し、最終処分が必要な廃棄物は適正に埋立処分をすることで環境に優しい社会づくりが進められています。



排出事業者様にお話を伺いました！

七ツ島バイオマスパワー合同会社 七ツ島バイオマス発電所（鹿児島市） 中園龍二 所長 にお話を伺いました。

当社はバイオマス発電による売電事業を目的に2019年1月に、七ツ島バイオマス発電所として営業運転を開始しました。発電出力は49,000kwで、輸入しているパーム椰子殻（PKS）と木質ペレット及び鹿児島県内の間伐材由来未利用材の木質チップ（合わせて年間約232,000トン）を燃料にして発電しています。

再生可能エネルギーにより環境にやさしい発電所として地域社会に貢献できるように、安定稼働に取り組んでまいります。



当社からは、ボイラーで燃焼するバイオマス燃料の「燃え殻」を運転開始以降年間を通じて搬出しております。エコパークかごしまは当社のような排出事業者にとりまして、なくてはならない重要な施設であり、安心安全な処分場として今後も利用させていただきたいと考えております。



環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を実施しています。また、毎日の設備点検においても地下水や浸出水等に異常がないか確認をしています。これらの調査結果については、これまで同様、異常は認められていません。

詳しい調査結果については、エコパークかごしまのホームページに掲載しています。



（阿茂瀬川の水質調査）



（勝目川の水質調査）

エコパーク周辺の地域振興策について

市道川永野・百次線から旧国道3号までの大型車両迂回路整備は、延長350mの道路改良舗装工事が7月に終了しました。

今後は、市道との取付部分工事と信号機移設工事を予定しており、令和7年度中の完成を目指しています。



（市道川永野・百次線側から撮影）



（旧国道3号側から撮影）

☆編集後記☆

8月の台風12号に伴う線状降水帯による大雨など、これまでに経験したことのない災害が増えています。被害に遭われた皆様には、お見舞申し上げますとともに、1日でも早く元通りの生活ができますことをお祈りします。

幸いにもエコパークかごしまには被害はありませんでした。今後とも、自然災害への備えをはじめ、安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいります。

問い合わせ先

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-0033 薩摩川内市川永野町 6924 番地 11
TEL 0996-21-1220
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。